

校内研究レポート

～知的好奇心に関わる実践～

特別支援学級

個学では子どもたちの、「行ってみたい、やってみたい、見てみたい、食べてみたい」などの思いを大切に、日常生活に密着した知識・技能を身につけることができるような学習に取り組んできた。

- ・ もぐもぐバーガー(バスの乗り方、お金の使い方、お店の方・先生方とのコミュニケーションの取り方、感謝の気持ちを伝える、計算、単純作業の繰り返し、場をわきまえた行動など)
- ・ 養護学校文化祭見学(電車の乗り方、買い物)
- ・ 枝豆(栽培、収穫、調理)
- ・ ポップコーン(栽培、収穫、調理、マクドナルドへのお礼としてプレゼント)
- ・ 大根(栽培、収穫、調理→たくわん、おでん、切り干し大根、味噌汁、ソテー)
- ・ 落花生(栽培、収穫、調理→ゆで落花生、ピーナツバター、サブレ、パン)
- ・ プリン(買い物)
- ・ 箱根へ行こう



子どもたちとどこかにおでかけしたいね、と以前から話していた。行ってみたい場所を聞くと、彫刻の森があがった。行き方を調べたり、しおりをパソコンで作成したりした。昼食を食べるものを選んでみると、子どもから「みんな高いけど、安いからカツカレーがいい」という意見が出た。お金を意識した発言が出るようになったことが学習の積み重ねの成果だと感じる。温泉にも入りたいと子どもたちから出たが、洗髪と体の洗い方の指導につなげ、水着を着て貸し切りの温泉で全員行った。

- ・ 掃除の時間



わかばの教室は広いので、ほうきで掃いてもどこを掃除したのかが分からない。そこで、教室の中央にごみ箱のようにごみを集める場所、信号の練習を兼ねて雑巾で拭く場所をビニールテープでマークした。また濡らした新聞を破き教室中にばらまき、ほうきで集める練習をした。ゲーム感覚で取り組み、目に見えてきれいになっていくのが分かり、子どもたちも集中して取り組んでいた。